



基本領域 産婦人科専門研修

連携

- 京都大学産婦人科研修プログラム
- 兵庫医科大学病院産科婦人科専門研修プログラム
- 神戸市立医療センター中央市民病院産婦人科研修プログラム
- 兵庫県立尼崎総合医療センター産婦人科研修プログラム

1. 産婦人科(但馬こうのとり周産期医療センター)の理念・特色

当院産婦人科は、但馬地方から京丹後地域にかけて唯一の産婦人科中核病院である。この地域唯一の中核病院として婦人科疾患から周産期、不妊治療まで、急性期から慢性期まで、幅の広い医療を提供することが求められており、そのすべてに対しより高度な医療を行えるよう、日々努力している。

2015年1月に発足した「但馬こうのとり周産期医療センター」は但馬地方唯一の地域周産期センターとして、正常分娩から合併症妊娠にいたるまで、あらゆる分娩に対応できる体制を整えている。NICU 併設の周産期センターであるため、但馬地方のみならず、京丹後地域からも母体搬送・紹介を受け入れている。

婦人科疾患についても、子宮筋腫や卵巣のう腫のような良性腫瘍から子宮頸癌や卵巣癌といった婦人科悪性腫瘍まですべてに対応している。良性疾患に対しては腹腔鏡や子宮鏡といった低侵襲手術も積極的に導入している。悪性腫瘍に対しては根治性を求めた拡大手術(広汎子宮全摘術や卵巣悪性腫瘍手術など)と、低侵襲性を追求した手術(腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術)の両方に対応できる体制となっている。2020年度からは、ロボット支援下手術も行っている。さらに、関連診療科との協働の元、放射線療法や化学療法を組み合わせた集学的治療も行っている。

不妊治療としては、妊孕能検査にもとづいて、タイミング療法、排卵誘発、人工授精を行っている。

2019年度からは、婦人科腫瘍学会認定の婦人科腫瘍修練施設、周産期・新生児医学会認定の母体胎児専門医研修施設、日本女性医学会認定の女性ヘルスケア専門医認定研修施設となり、幅広い領域に対して高度な診療な診療の提供、およびその結果としてのサブスペシャリティ取得が可能な体制となった。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

産婦人科の取り扱うすべての疾患に対し適切な診療が行えるようになるための基礎的素養をもち、サブスペシャリティ(周産期・腫瘍・不妊・女性ヘルスケア)領域も適切に診療できる医師を目指す。

イ. 経験できる診療、技術

正常分娩取り扱い、ハイリスク妊娠・分娩対応、帝王切開術、胎児エコー、一般婦人科手術、腹腔鏡手術、悪性腫瘍根治手術、経腔手術、一般不妊治療(人工授精含む)など。

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
午前	分娩 外来診療 (婦人科・産科)	婦人科手術 分娩 外来(婦人科・産科)	分娩 外来診療 (婦人科・産科)	分娩 外来(婦人科・産科)	婦人科手術 分娩 外来(婦人科・産科・ 胎児スクリーニング)	病理カンファ 勉強会(隔週)
午後	分娩 外来診療 (婦人科・産科・不妊)	婦人科手術 分娩 外来(婦人科・産科)	分娩 外来診療(婦人科・ 産科・不妊・胎児 スクリーニング)	産科手術 分娩 外来(婦人科・産科)	婦人科手術 分娩 外来 (婦人科・産科・不妊)	
時間外	周産期カンファ 病理カンファ(隔週)		術前カンファ	画像カンファ		

4. 指導医・スタッフ

但馬こうのとり周産期医療センター
センター長 住友 理浩
兼部長

出身	滋賀医科大学 H11
専門	婦人科腫瘍,周産期医療,母体救命,医療安全
認定	日本産科婦人科学会専門医・指導医,日本婦人科腫瘍学会専門医,日本がん治療認定医機構認定医,日本周産期・新生児医学会母体胎児専門医,母体保護法指定医,ALSOインストラクター, J-MELSベリックコースインストラクター,日本女性医学会女性ヘルスケア 暫定指導医,臨床研修指導医,医療安全管理者,daVinci system onsole surgeon認定

医長 上林 翔大

出身	滋賀医科大学 H25
専門	産婦人科一般
認定	日本産科婦人科学会専門医,日本がん治療認定医機構認定医,母体保護法指定医,日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コース修了

医長 門元 辰樹

出身	京都大学 H26
専門	産婦人科一般
認定	日本産科婦人科学会専門医

医員 濱田 航平

出身	京都大学 H27
専門	産婦人科一般
認定	日本産科婦人科学会専門医

医員 山田 香

出身	熊本大学 H27
専門	産婦人科一般
認定	日本産科婦人科学会専門医

専攻医 今竹 ひかる

出身	島根大学 H29
専門	産婦人科一般

専攻医 大月 美輝

出身	京都大学 H29
専門	産婦人科一般

5. 診療設備等

Volson E10 x2台, Volson E8 x1台



産婦人科領域

6. 診療実績

術式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
分娩件数	859	810	828	707
帝王切開	108	109	93	98
母体搬送受け入れ件数	2	6	8	11
婦人科手術	108	194	202	150
★開腹手術				
腹式単純子宮全摘術	35	16	8	13
腹式子宮筋腫核出術	5	2	2件	1
腹式子宮附属機切除術／卵巣腫瘍核出術 (子宮全摘に伴うものを除く)	8	4	9件	2
子宮悪性腫瘍手術	10	14	14	9
(うち広汎子宮全摘術)	4	4	4	3
卵巣悪性腫瘍手術	10	12	9	9
その他開腹手術	1	1	3	2

★腹腔鏡手術				
腹腔鏡下子宮摘出術	31	32	28	17
腹腔鏡下附属器切除術／卵巣腫瘍摘出術	29	27	41	24
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体癌)	0	0	3	7
ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術	0	0	3	5
その他腹腔鏡手術	11	8	6	14
★経腔手術				
子宮鏡下子宮筋腫核出術／子宮内膜ポリープ切除術 ／子宮鏡下子宮内膜搔爬術	35	27	27	15
子宮頸部円錐切除術	49	34	26	23
頸管縫縮術	1	1	7	5
子宮脱手術	2	5	9	5

7. 学会認定施設

地域周産期母子医療センター

日本産婦人科学会専門医制度 専攻医指導施設

日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医修練施設

日本周産期・新生児医学会 周産期専門医(母体・胎児)指定施設

日本女性医学会 女性ヘルスケア専門医認定研修施設

専攻医の声

大学病院で1年間の後期研修を行った後に豊岡病院で勤務をしています。豊岡病院は但馬地域を代表する基幹病院です。年間約900件の分娩があり、豊富な分娩症例を経験することができます。産科の症例が豊富なのはもちろん、婦人科疾患も近年は症例数が増加しており、腹腔鏡手術も積極的にこなしています。数年前に腹腔鏡手術を本格的に始めた時は症例数こそ多くありませんでしたが、私が豊岡病院に勤務したこの2年間の間でも症例数は着実に増加しており、今後も増加することが予想されます。悪性疾患の取り扱い数も増えています。このように、腹腔鏡や悪性腫瘍の手術についても当院では豊富に勉強することができます。不妊治療についても不妊外来を行っており、人工授精までは当院で行なっています。

また臨床だけでなく、研究や学会発表といった学術活動にも力を入れています。日本産婦人科学会をはじめとする関連学会の学術集会には、交代でなるべく皆が参加するようにしています。豊岡病院は但馬地域の約9割の分娩を取り扱っているという特性から、周産期の研究を行うのに非常に適した環境にあり、他の診療科とも連携しながら臨床研究を積極的に行い、学会発表も積極的に行なっています。2019年の日本産婦人科学会では当院からの研究発表がJSOG Congress Encouragement Award候補演題に選ばれました。当院は産婦人科の幅広い領域を勉強することができ、非常に充実した研修生活を送ることができる病院です。

最後に当科はオン・オフもはっきりしており、休日は当直(月5回ほど)が基本的に対応するため、当直のない日は思いっきりリフレッシュすることができます。海や温泉、スキー場、多くのゴルフ場等、周辺には素晴らしい環境も整っており、どれも車で20-30分ほどの距離にあります。食事や新鮮な魚介類、カニ、野菜、但馬牛、日本酒などグルメにも事欠きません。研修を行うのには素晴らしい環境だと思います。

専攻医 Aさん